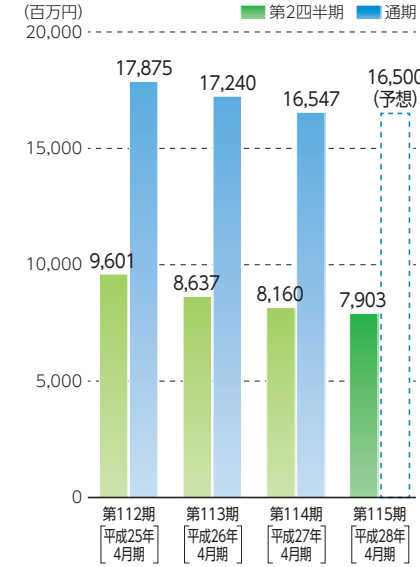
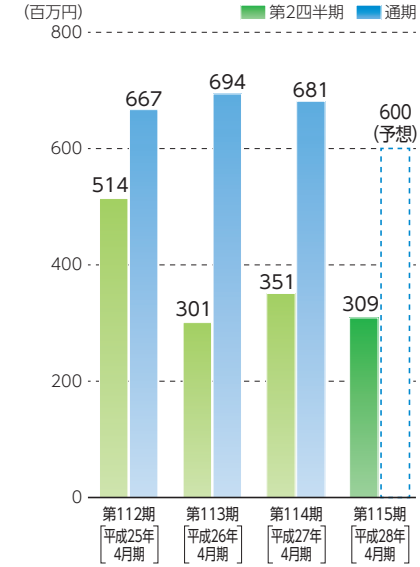


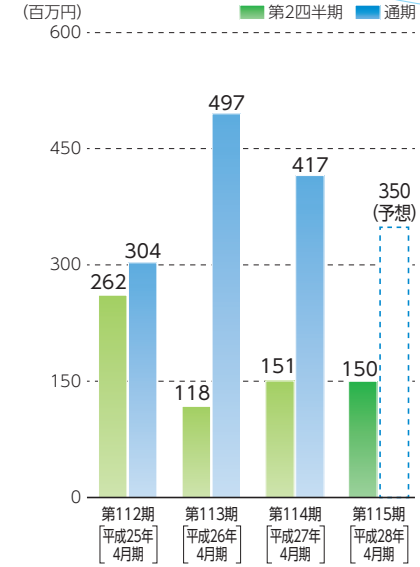
売上高



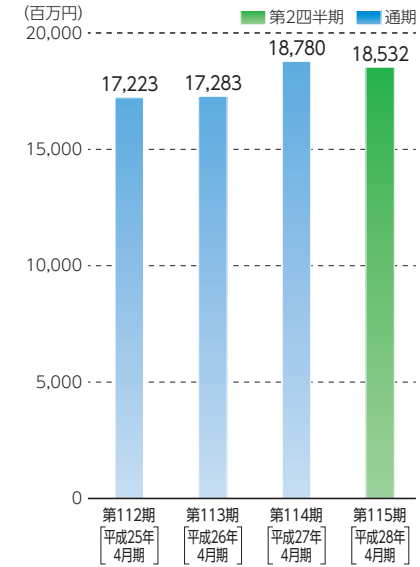
経常利益



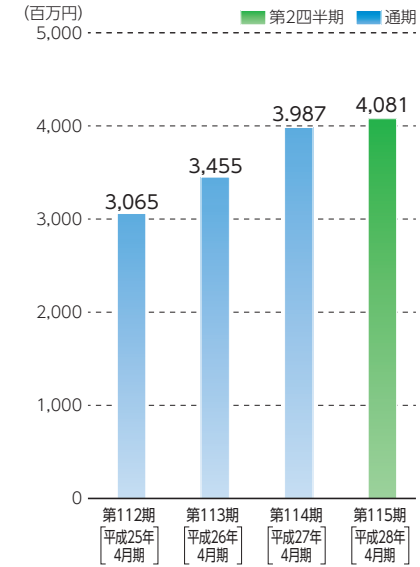
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



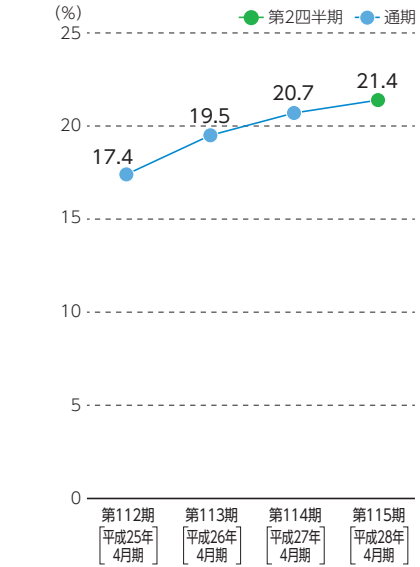
総資産



純資産



自己資本比率



会社概要

(平成27年10月31日現在)

設立 明治43年8月
 資本金 1,378百万円
 従業員数 801名(連結)、261名(当社)
 東京本社 東京都港区新橋二丁目20番15-701号
 福山本社 広島県福山市一文字町14番14号
 工場 函館・福山
 事業所等 札幌・網走・石巻・東京・高岡・福山・九州・
 紋別・釧路・八戸・いわき

取締役及び監査役

(平成27年10月31日現在)

代表取締役社長	小林宏明
代表取締役専務	山本節夫
常務取締役	高吉良
取締役	三島浩
取締役	三森和
取締役	小森重
取締役	岡耕一
常勤監査役	濱田富
常勤監査役	小立柴訓
監査役	立川隆造

主要グループ会社

(平成27年10月31日現在)

【国内】
 多久製網株式会社
 株式会社泰東
 日東ネット株式会社
 有限会社温泉津定置
 日本ターニング株式会社
【海外】
 レデス・ニッター・チリ・リミターダ(チリ)
 タイ・ニットウセイモウ・グローバル Co.,Ltd.(タイ)

株式の状況

(平成27年10月31日現在)

発行可能株式総数 64,000,000株
 発行済株式の総数 26,050,000株
 株主数 3,619名

株主メモ

事業年度 毎年5月1日から翌年4月30日まで
 定時株主総会 毎年7月下旬
 基準日 定時株主総会・期末配当：毎年4月30日
 中間配当：毎年10月31日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日。
 株主名簿管理人及び特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 【郵便物送付先】 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
 【電話照会先】 0120-782-031(フリーダイヤル)
 公告方法 電子公告
 <公告掲載URL>
<http://www.nittoseimo.co.jp/>
 但し、事故その他のやむを得ない事由によつて電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 上場証券取引所 東京、名古屋

第115期 中間報告書

平成27年5月1日から平成27年10月31日まで



高品質な製品の提供を通じ、安全・安心な生活環境づくりに貢献していきます。



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

近年、漁業を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。当社グループは、主力の漁業関連事業を強化する一方、陸上関連事業の拡充に注力することで、新たな市場の創出に努めております。

今後とも皆様の変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。
平成28年1月

代表取締役社長 **小林 宏明**

Q1 当第2四半期の市場環境と業績はいかがでしたか？

当社製品の主力ユーザーである水産業界は、漁獲高の減少傾向が続くマグロの漁獲規制など依然として厳しい状況にあります。マイワシやサバ等の一部の水産資源が復活するなど明るい兆しも見られます。また、燃油代が

下落したことで、経費削減が行われ、一部の漁船漁業ではありますが、漁業資材等の設備投資意欲がでてきております。

このような状況を受け、当第2四半期の連結売上高は、国内外の旋網の受注は好調でしたが、陸上用ネットの売上高が減少したことにより前年同期と比べて減少しました。営業利益は、新製品の販売や原材料価格を含む経費削減の努力により、漁業資材の粗利益率が改善し、前年同期と比べて増加しました。経常利益は、業績や財務指標の改善により、支払利息は減少したものの、為替差損が発生したことにより前年同期と比べて減少しました。特別損失は、固定資産売却損等が発生しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,903百万円(前年同期比3.1%減)、営業利益は402百万円(同13.0%増)、経常利益は309百万円(同12.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は150百万円(同0.6%減)となりました。

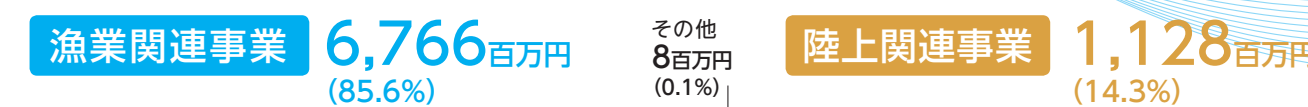
Q2 通期の課題と対応、業績予想をお聞かせください。

漁業関連事業では、定置網、旋網や養殖網部門の受注が堅調に推移していくと考えております。定置網部門を中心に、提案型の営業やオリジナル商品の販売を積極的に行い、売上高確保に取り組んでまいります。

陸上関連事業では施工工事部門での人材確保の問題などがありますが、引き続き安定した受注を見込んでおります。

通期業績については、当第2四半期が当初予想どおり推移しており、現時点では売上高は16,500百万円、営業利益は670百万円、経常利益は600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は350百万円と予想を変更しておりません。配当につきましては、平成28年4月期の期末配当金として1株につき3.5円を予定しています。

当社グループは、今後も業界のリーダーとして新たな時代の先頭に立ち、様々な角度から提案してまいります。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



売上高は6,766百万円(前年同期比1.2%減)となりました。主な要因は、国内外の旋網の受注は順調に推移しましたが、定置網の受注が下期にずれ込んだことなどが影響したことによるものです。セグメント利益は、旋網や定置網などの漁網の粗利益率が改善し、417百万円(同27.7%増)となりました。

事業紹介



旋網

海苔網

定置網をはじめ、旋網、曳網、養殖網、海苔網など、漁業に欠かせない製品を数多く提供しています。また、漁場設定や漁場調査、漁場に適した網の設計、仕立といったソフト面のサポートも充実しています。さらには、漁獲された魚の販売や販売先の紹介など、漁労の現場に即した事業展開を心がけています。これからも最新技術を駆使して、お客様のご要望にきめ細かく対応していきます。



各種ロープ

売上高は1,128百万円(前年同期比13.3%減)となりました。主な要因は、産業資材の防虫網や獣害防止ネットなどの受注が下期にずれ込んだことによるものです。セグメント損失は、売上高の減少が主因であり、15百万円(前年同期は28百万円の利益)となりました。

事業紹介



獣害防止ネット

遊具ネット

ご家庭の網戸や各種スポーツネット、建設現場から農業用途に至るまで、様々なシーンでご利用いただける製品を提供しています。中でも、防虫網は独自に開発した高耐候・高強度のポリオレフィン原糸を使用しています。焼却しても有毒ガスを排出せず、環境に優しい素材です。このほか、防球ネットや獣害防止ネット、土木・建築用ネット、防災ネットなど、活躍の場がますます広がっています。網のトップメーカーとして培った知識と経験をもとに、設計から施工、修理に至るまで一貫して対応することが可能です。



防球ネット

第115期
〔平成28年4月期〕
第2四半期
売上高構成